

発注リードタイム延長 の取り組み事例

令和7年5月29日（木）

アルビス株式会社

営業本部 営業企画部長

木村 克紀

会社概要

Confidential

社 名：アルビス株式会社

本社所在地：射水市流通センター水戸田3-4

設 立：1968年12月

資 本 金：4,908,337,474円

従業員総数：連結4,663名

(正社員 1,004名 パートタイマー 3,659名)

事業内容：食品小売業

店 舗 数：68店舗（富山38店舗、石川20店舗、福井6店舗、岐阜2店舗、愛知2店舗）

連結子会社：株式会社アルデジャパン（食品製造事業：惣菜、精肉加工、豆腐）

アルビスクリーンサポート株式会社（リサイクル・清掃業）

；特例子会社（2012年3月稼働）

その他子会社：株式会社アルビスファーム信州なかの

；就労継続支援 A 型事業（2017年9月稼働）

A&S株式会社（インストアベーカーリー事業）

※2024年度 障がい者雇用率3.91%（法定雇用率 2.5%）



対象商品

- ・日配（豆腐・麺・練り製品・牛乳・ヨーグルト等）
- ・精肉加工品（ハム・ウィンナー等）

発注リードタイム延長内容（2021年4月から）

センターを経由する日配品については100%納品日の2日前発注に変更

● 変更前

発注	納品日1日前：12時締め（仕入先:13:30頃受）
センター入荷	納品日1日前：16時以降～26時
店舗納品	当日：早朝から8時頃までに完了

● 変更後

発注	納品日2日前：12時締め（仕入先:13:30頃受）
センター入荷	納品日1日前：16時以降～26時
店舗納品	当日：早朝から8時頃までに完了

※センターを経由しない店舗直送商品（冷食/アイス・パン・和菓子等）は、これまでどおり店舗納品日の1日前に発注

<ドライ>

日配品同様、発注日から店舗納品の間を1日延長

● 変更前

発注	納品日当日：10時締め（仕入先:12時頃受）
店舗納品	当日：14～22時

● 変更後

発注	納品日1日前：10時締め（仕入先:12時頃受）
店舗納品	当日：10～22時に店舗納品

経緯

- ・アルビス株式会社では、メーカー・卸側での食品ロス削減、また物流センター側での作業効率改善を目的として2021年4月より日配・精肉加工品の発注リードタイムを延長することとした。
- ・延長実施にあたっては、既に導入している「自動発注システム」について、店舗発注担当者に運用ルールを再度教育をおこなった。
- ・リードタイム延長について店舗運営部は心配していたが、人の手による勘の発注から、自動発注システムの客数予測精度を上げていき、在庫を補正する仕組みの運用を徹底することで、需要予測精度の低下をカバーできるのではないかという考え方を理解してもらい、取り組みを進めることができた。
- ・会社として**全体最適をめざす社風**があり、取引先や物流委託先と一緒にした取り組みが進められやすかった。

実施による影響や効果

（メーカー・卸側）

- ・見込製造から、受注確定後の生産となるためには、造りすぎや追加製造等の作業が軽減

（物流センター側）

- ・翌々日の物量が確定することで、センターの人員や店舗への配送車両台数の調整が可能になった。

（店舗側）

- ・自動発注運用を高めることで発注時間を削減した。
- ・対象商品の店舗での廃棄率は、実施前後でほぼ変わらなかった。

サプライチェーン改善の実例（日配商品）

Confidential

発注リードタイムの見直し（延長）と自動発注活用による食品ロス削減

※日配商品：豆腐、納豆、練り物などの比較的消費期限の短い商品

Before

【問題】

見込み製造による
在庫の増加 欠品の増加など

リードタイムD+1発注（発注の翌日納品）

メーカー

卸

アルビス
(センター)

アルビス
(店舗)

消費者

リードタイムD+2発注（発注の翌々日納品）

【改善】

注文確定後の製造による
在庫の削減 欠品の防止

自動発注の活用による発注精度の向上
(経験の浅い従業員でも一定レベルの
発注精度を実現)

After

ご静聴ありがとうございました

本資料は情報の提供を目的としております。

本資料の著作権はアルビス株式会社に帰属し、当社に許可なく本資料を複製、配布することを禁止します。

ご照会先

営業企画部

電話番号 : 0766-56-7200